

博士前期課程（修士） / 健康看護学領域 / 地域・精神・保健学分野

科目コード：220018

## 地域看護展開演習 Operation Community Health Nursing

担当教員	石垣 和子 阿部 智恵子 織田 初江 塚田 久恵				
実務経験					
開講年次	1年次後期	単位数	2	授業形態	講義・演習
必修・選択	選択	時間数	30		
Keywords					
学習目的・目標	<p>学習目的：国、都道府県・市町村、あるいは民間企業、NPO等に所属し、公衆衛生の一端を担う看護専門職という観点で、国内外のモデル的・先駆的な多様な看護活動実践例を提示し、その活動の意義・効果・将来展望などを教授する。学習目標：1. 対象とする地域や組織の特徴・健康生活上の課題の捉え方、活動の企画・実施・評価の現状等を分析し、公衆衛生の一端を担う看護活動における展開方法上の原則について修得する。2. 諸外国の活動と比較検討することを通じて、我が国の保健・医療・福祉政策及び看護活動における看護職の役割・機能についてのグローバルな視点を養う。3. 看護職として地域看護活動を行うにあたっての情報収集と分析、課題の明確化と実施、評価について一連のプロセスを修得する。4. 地域、企業、NPO、家族、ボランティアなど多様な社会集団の相互作用を生かした、看護活動の働きかけの方法を理解する。</p>				
授業計画・内容					
回	内容	授業方法	担当		
1-2	オリエンテーション、地域看護活動の展開（個人・家族・集団への保健ケア）	講義	石垣・織田		
3-4	地域看護活動の国内外のモデル的・先駆的な実践例	講義	織田・塚田 石垣・織田		
5-6	展開1 課題についての討論 地域看護活動の国内外のモデル的・先駆的な実践例	討論 講義	織田・塚田 石垣・織田		
7-8	展開2 課題についての討論 演習1 個人・家族・集団への保健ケアを中心とした展開方法と技術開発	討論 プレゼン	織田・塚田 石垣・織田		
9-10	演習2 関連機関とのネットワーク形成、連携における方法と技術開発	プレゼン	織田・塚田 石垣・織田		
11-13	演習3 地域における地域看護の展開事例を元に理想的な地域看護活動あり方について考える	プレゼン	織田・塚田 石垣・織田		
14-15	まとめ 成果発表	成果発表	織田・塚田 石垣・織田		
			織田・塚田		
教科書	文献等、適宜配布する				
参考図書等	適宜配布する。				
評価指標	課題及び成果発表と討論への参加状況50%、レポート内容50%により、総合的に評価する。				
関連科目					
教員から学生へのメッセージ					